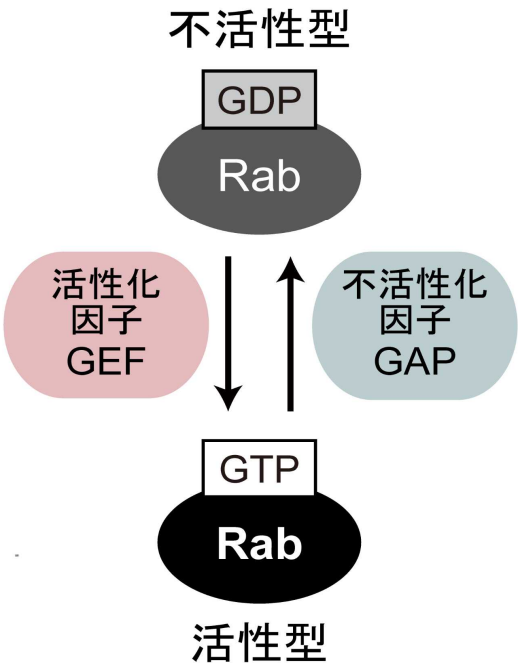
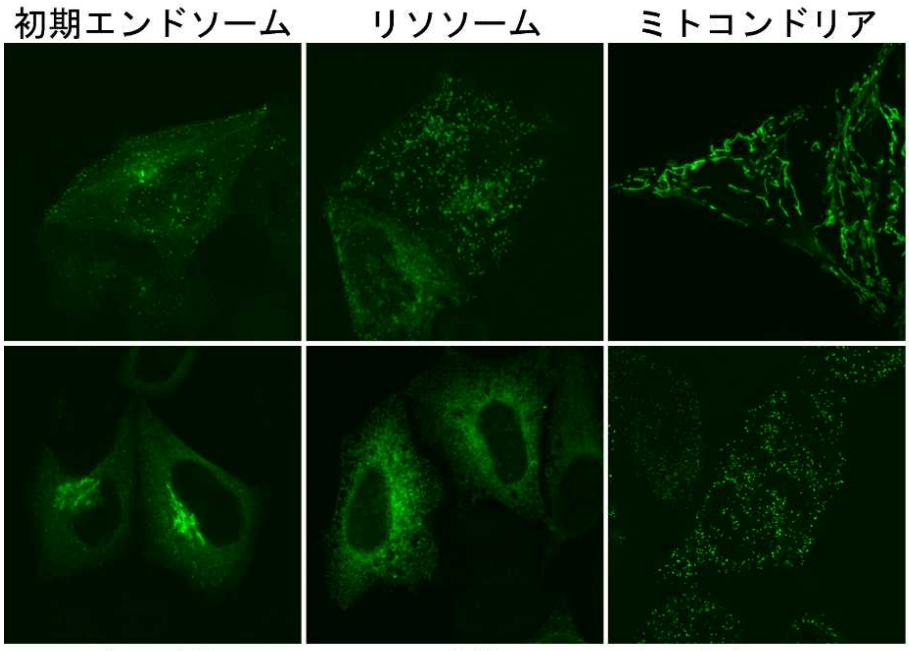
ピックアップ！内分泌研究者

File No. 0055

名前	中島　駿平（ナカシマ　シュンペイ）
所属	東北大学・生命科学研究科
職種・学年	博士課程後期3年
実験動物	培養細胞(HeLa, COS-7)
好きな実験	低スループットスクリーニング、タンパク質精製
趣味	スポーツ観戦、読書、猫カフェで猫と同化
Homepage	http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/fukuda_lab/home-ja.html
ひとこと	腰を労わりましょう
研究紹介	所属研究室では小胞輸送を制御する低分子量Gタンパク質Rabの研究を行っています(Rab3やRab27はホルモンや神経伝達物質の輸送に関与しているので皆様も耳にしたことがあるかもしれません)。私は特にRabの活性制御とRabによる細胞小器官の動態制御に興味を持っています。
トピック1：研究者を志したきっかけ	学部生の頃、デンマークから大学の臨海実習所に来ていたクラウス・ニールセン先生(当時81歳)とお話して、自分の興味ある事を突き詰める人生っていいよなと思ったことがきっかけです。
トピック2：目標、チャレンジしたいこと	現在は培養細胞を用いて分子メカニズムの研究を行っていますが、将来的には個体レベルでのアウトプットも見てみたいです。(研究費の採択の有無よ、早く出てくれ)



Rabの活性制御のイメージ



GFPで蛍光標識した細胞小器官